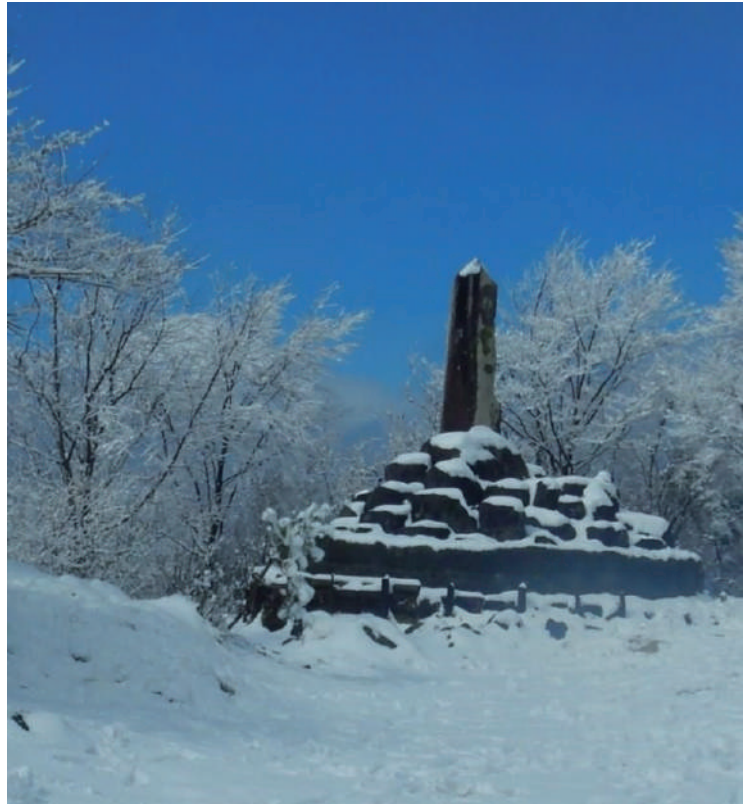




鳥の巣

足柄峠



静岡県の小山町と神奈川県南足柄市の間にある峠で、奈良・平安の時代には東国と西国とを結ぶ官道（足柄道）であり東海道の交通の要所でもありました。東国から西日本の防備のために赴いた防人が詠んだ歌が万葉集の中にも多くあり、近くの万葉公園には足柄峠ゆかりの歌を刻んだ石碑があり当時の人々の思いをしのぶことができます。現在は富士山の景色を楽しむことができます。として多くの観光客が訪れています。

今、ふれあいの村では・・・

本格的な冬の寒さとなり、本記事を書いている頃には明神ヶ岳や金時山もうっすらと雪が積もっていました。

◆ 植え込みの中に赤々と実った果実を見つけました。サルトリイバラです。茎には鋭いトゲがあり、触る際は注意が必要ですが根は薬用、果実は果実酒、葉は餅を包んだり様々用途に活かせる植物です。

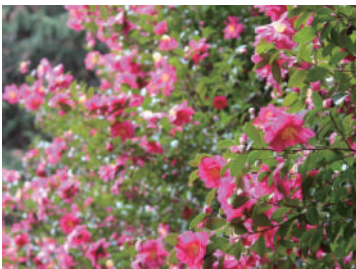
◆ 小さな小鳥の群れがサザンカの木々の中を飛び回っていました。メジロです。花の蜜を好む為、「はなすい」や「はなつゆ」と呼ばれている地域もあるそうです。ふれあいの村にもサザンカの蜜を求めてやってきたのでしょうか。



サルトリイバラ



クロガネモチ



サザンカ



スイセン



落葉



メジロ

七十二候

葺冬華さく

ふきのはな
一月二十日〜二十四日

ふきのとうは雪解けを待たずに顔を出すことから「春の使者」と呼ばれる事があります。野山や道端など日当たりの良い場所に自生します。

七十二候では「はなさく」と読まされていますが、花が咲くのはもう少し先で今見られるのはつぼみ達です。

つぼみが地面から顔を出すと、土の下では春の準備が進んでいるというわけですね。

尚、ふきのとうは春一番に最も早く食べることが出来る山菜で、独特の苦みと香りがあります。



★フィールドワーク★

野外を探検・調査・観察することをフィールドワークといいます。



ビワ



シカのフン



アザミ



ヤツデ

冬の午後、静かな村内で落葉を踏みしめる音を響かせながら散策に出かけました。

◆大きなクワの木を見上げると、二股の場所に小さなビワの木が生えていました。

周囲にビワの木は生えていないので鳥が運んできたのでしょうか。ビワは古来より様々な薬効があることで知られており、「大薬王樹」とも呼ばれているそうです。まだ大樹となるには時間がかかりますが、今後どのように成長するのか楽しみです。

◆雑木林の中を歩いているとシカのフンを見つけました。大ききからして子どものものでしょうか。

散策路ではシカの足跡や食痕なども発見でき、それ以外の小動物の痕跡も見つけることができます。

冬の静かな今頃はシカや小動物達が遊びに来ているようです。

【イベントのご紹介】

※お問合せは、足柄ふれあいの村に電話（0465-72-2010）されるか、『足柄ふれあいの村』のホームページにアクセスしてください。

※今後、変更等がある可能性がありますので『足柄ふれあいの村』のホームページを随時ご確認ください。

「あしがらファミリーキャンプ②」のご案内

冬の足柄で家族キャンプ！

エネルギーあふれる大自然の中、家族で自然散策やみんなで協力して野外炊事など様々な体験を楽しむ2日間です。

実施日 令和7年3月15日（土）～16日（日）【1泊2日】

会場 足柄ふれあいの村

対象 家族・親子

定員 60人

参加費 中学生以上：7,800円 / 3歳以上～小学生：5,900円

申込期間 令和7年1月5日（日）～令和7年2月7日（金）

★来月のファミリーコミュニケーションの日：2月2日（日）

10:00～12:00《自然観察会》動物の食べあとやフンなど、痕跡はみつがるかな？（参加費無料）

13:00～15:00《クラフト教室》桃の節句のペーパークラフト（材料費200円）

※ファミリーコミュニケーション運動の一環として、毎月、第一日曜日に開催中です。※申込み・問合せは電話などでお気軽にどうぞ。

神奈川県立足柄ふれあいの村（南足柄市広町1507）

電話：0465-72-2010 F A X：0465-72-2013

指定管理者：株式会社アグサ（連携協力：関東学院大学）

所管課：神奈川県教育委員会教育局支援部 子ども教育支援課

U R L：http://www.ashigara-fureai.com/